

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 宮本金一朗

主体性しんたいせい：**き**気づく→**か**考える→**う**動く
人前ひとまへ力りき：**自**ら表現・**他**者理解・**協**働
たい力りき：**体**力・**耐**力・**態**力 11月4日(木)

校訓
教育目標

なせばなる なさねばならぬ なにごともしらぬは 人の なさぬなりけり
夢・実現 ~夢の実現に向かって努力する「奈っ自慢子」の育成を通して~

音楽祭

テーマ「奈留から世界へ～明るくあたたかなメロディーを響かせよう～」

前期

【合奏 笑点】

練習しているこの曲を聴くのが楽しみでした。私の小さい頃から聞き慣れた曲でなんとなく気持ちがウキウキします。今日は何よりも中村貴之先生の指揮を見て一生懸命弾いていたことが一番印象に残りました。心がこもった素晴らしい演奏でした。

【合唱 瞳を閉じて】

10年前この曲で見送られ、また奈留島に戻ってこようと思った当時を思い出しました。ユミンからいただいた奈留島の宝を立派に歌い上げてくれました。元気いっぱい、息もピッタリでした。今後も歌い継いでほしいと思います。



小学5・6年生

【合奏 威風堂々】

卒業式なんかでもよく使われる曲ですね。最初はテンポ良く、その後、落ち着いたタイトルどおりの格調高い気分になります。一生懸命頑張る前期とはまた違った成長した高学年の姿が感じられました。

【合唱 Believe】

数年前私が中学校1年生の担任をしていたときの課題曲でとても思い入れのある曲です。「たとえば君が傷ついて～」という出だしを何度も練習させたことを思い出しました。感情を込めて音の大小を工夫するところ、ハーモニーを聴かせるところなど、しっかり練習の成果を出すことができました。素晴らしい合唱でした。

HATAAGE

今年度も動画での発表をしていただきました。奈留島で活躍する先輩の姿はあこがれであり、目標です。子どもたちは、自分の数年後の近い将来をイメージしながら見ていたように感じました。HATAAGEの皆さん、ありがとうございました。

職員合唱

島人ぬ宝：先生方のチームワークの良さが伝わりましたか？なかなか先生方が一緒に練習できる時間が確保できませんでしたが、精一杯歌いました。

佐々野先生の演奏格好良かったです。

高校1年生

【リズム合奏 Clapping Quartet (クラッピング、カルテット)】

手拍子によるアンサンブル曲ですが、途中でリズムが変わるので小中学生はなかなか難しいだろうなあとと思いながら聴かせていただきました。短い練習期間でここまで仕上げるのは大変だったかと思えます。リズムにのった素晴らしい発表でした。

【合唱 世界に一つだけの花】

この曲を歌っているのはSMAPですが、メンバーの木村拓哉さんや中居正広さんは私と同じ歳です。この曲自体は18年前ですので、高校生の皆さんもまだ生まれていないときの曲です。なつかしくその頃を思い出しました。「ナンバーワンではなく、オンリーワン」世界に一つだけの素晴らしい合唱・花だったと思います。

中学生

【合唱 ぜんぶ】

とてもなめらかな優しい旋律をもつ曲です。この曲を書いた方が、後に「踊るポンポコリン」の作者さくらももこさんの詩集からこの詩を見つけ載せたんだそうです。喜怒哀楽それぞれを気持ちを込めて歌い上げていてこちらにぐっと気持ちが伝わってきました。

【合唱 We are the world】

この曲はマイケルジャクソンやスティービーワンダーなどの有名なアーティスト45名で歌われたもので、アフリカの飢餓救済のチャリティーソングでした。きっと一人一人がその思いを胸に歌ってくれたんだと思います。特に最後のクライマックスのところは迫力がありました。全部英語の歌詞だったにもかかわらず、すべて英語で歌いきました。今回の奈留から世界へというテーマにピッタリのすばらしい合唱だったと思います。



「音楽は世界の共通語」と言われます。世界中、言葉が違っていても音楽なら私たちのメッセージを届けることができます。これからも元気な歌声で奈留から世界へメッセージを送り続けたいと思います。

最後になりましたが、平日のお忙しい中、御参観いただきありがとうございました。